

1 趣旨

本県の今後の文化振興の方向性および重点戦略等とをとりまとめ、県内活動者や関係機関、市町などと協働しながら総合的・計画的に推進することにより、県民の文化力向上を図る。

2 位置づけ

- ・福井県長期ビジョンの分野別計画
- ・文化芸術基本法第7条の2に定める地域文化芸術推進基本計画

3 計画期間

5年間(令和6~10年度)

4 対象とする文化芸術の範囲

文化芸術基本法が対象とする範囲を基本として踏まえつつ、本県独自の歴史、景観、方言など、福井の文化の特性を形作る事柄を広く対象とする。

5 本県の現状と主な課題

(1)地域の文化的環境に対する県民の満足度が低く、自ら文化芸術活動(創作や習い事、祭りや体験活動への参加など)を実践している県民が少ない。

- ・地域の文化的環境に満足している割合34.3%
- ・過去1年間に何らかの文化芸術活動(鑑賞以外)を実践・支援した割合22.3%
(R4県民アンケートの結果)

(2)人口減少・少子高齢に伴い、祭りや伝統芸能をはじめ、地域の文化の担い手が不足している。

- ・人口減少、少子高齢の進行(2020年76.7万人→2040年64.7万人)
- ・文化団体の高齢化・会員減少による活動継続が困難に
(R4文化団体へのアンケートの結果:10年前より活動者数が減少した割合88.3%)

(3)博物館数や県民向け講座数など数値は全国と比較して上位に位置付けられるほか、図書館の個人貸出数や入館者数は全国トップであり、知的好奇心が高い県民性とそれを支える環境が整っていることが見て取れる。

しかし、人口減少・少子高齢が進み、社会環境が急激に変化していく中で、文化施設もそれらに対応し、地域の課題解決に寄与していく必要がある。

- 青少年学級・講座数:1位 成人学級・講座数:3位 女性学級・講座数:5位
- 高齢者学級・講座数:7位 博物館数:6位 青少年教育施設数:9位
- ※すべて100万人あたり(文部科学省 社会教育調査)
- 図書館入館者数(人口比):1位 個人貸出数(人口比):1位
(日本図書館協会 日本の図書館統計)

(4)大交流時代に対応するため、創造性をもって福井の文化の価値を高め、世界に発信していく必要がある

- ・北陸新幹線の開通(R6)、中部縦貫自動車道の県内全線開通(R8)など、都市圏との利便性が向上する一方で、地域間競争が激化
- ・外国人宿泊者数 全国33位

6 骨子案(概要)

基本理念

みんなで創る 文化でつながる 人と地域が輝く福井

悠久の歴史に育まれた暮らしや風土、豊かな自然環境を活かしながら、文化芸術に触れ、楽しみ、自ら創造・発信する県民の主体的な活動を応援することにより、県民のウェルビーイングと地域の活力が相乗的に高まり、好循環を創出する社会を目指す

目指す姿

1 誰もが文化芸術と触れ合い、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井



2 みんなで地域の文化を守り、育て、未来へ引き継ぐ福井



3 文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井



基本方針

- ① 県民主体の活動の振興
- ② 県民全ての表現・参加機会の拡大
- ③ 文化芸術を振興する次世代の育成
- ④ 地域の文化の振興
- ⑤ 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造
- ⑥ 文化芸術による交流機会の拡大
- ⑦ 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化

7 政策効果を評価・検証するための指標

(5年ごとのアンケート調査などで定点観測)

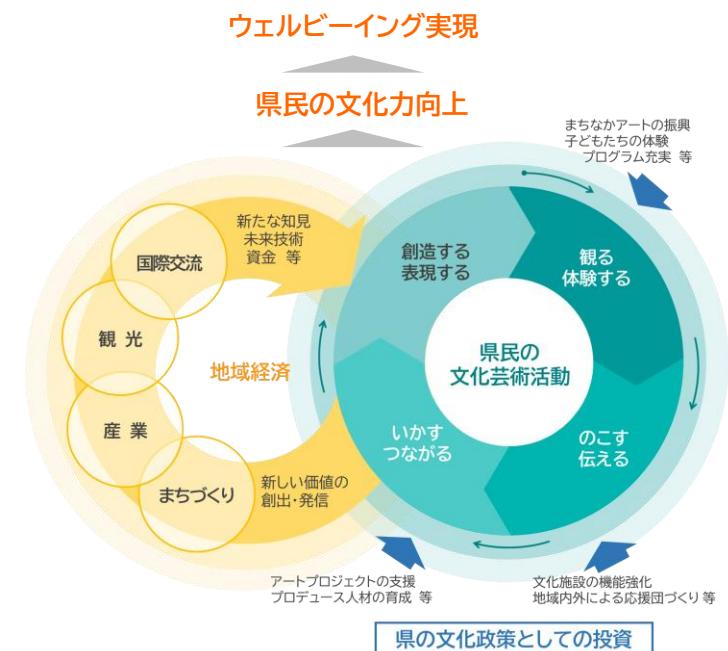
指標	現状値
過去1年の間に、芸術鑑賞以外の文化芸術活動を実践(創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など)、もしくはボランティアとして活動支援をした者の割合 (福井県調べ)	22.3% (R4)
地域の文化的環境に対する県民満足度 (福井県調べ)	34.3% (R4)
最近(過去10年間)の活動の傾向について、発表の機会が増えたと回答した文化団体の割合 (福井県調べ)	6.7% (R4)
過去1年間に地域文化(支援)活動に取り組んだ企業の割合 (福井県文化振興事業団調べ)	56.8% (R5)
観光消費額 (福井県観光客入込数(推計))	1,058億円 (R4)

8 推進体制

県は、文化施設、市町、(公財)福井県文化振興事業団、各分野の文化団体など様々な主体と連携を図り、それぞれと課題を共有・協働しながら、文化振興施策を総合的・効果的に推進する。

また、文化芸術の普及・創造・発信の拠点となる文化施設の中間支援機能の強化、地域や大学と連携した調査・研究機能の拡充など、文化施設を核とした本県の文化芸術の一層の活用を推進する。

<福井県における文化芸術と地域経済の好循環 イメージ図>



県の文化政策としての投資

目指す姿 1

誰もが文化芸術と触れ合い、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井



主な取組み

基本方針① 県民主体の活動の振興

【文化芸術活動実践者への支援の充実】

- 市町ホール等を拠点とした音楽サークルの活動支援による県民の音楽活動の拠点づくり
- 吹奏楽、合唱、書道、茶道、華道、舞踊、文芸など文化団体の発表活動支援
- 総合型文化祭を通じた多様な文化の鑑賞・体験機会の拡充（県民文化祭を分野別から総合型の発表に見直し）
- 県民の自律的・継続的な発展に資する活動支援（専門のアート人材を配置した「アートサポートセンター(仮称)」機能の構築による伴走型支援の充実）
- 文化施設の老朽化・地球温暖化対策の計画的推進、民間資金やノウハウを取り入れた文化施設の運営サービス・利便性の一層の向上

【文化芸術活動への参加促進】

- 地域団体と連携した楽器体験会の開催等によるアマチュアプレーヤーの掘り起こし
- 「まちなかステージ」など誰もが発表できる場の拡充
- 県内アーティストバンクの充実・活動したい県民等とのマッチング支援による県民一人一人のコト始めを応援
- 「鑑賞する力」を育む対話型鑑賞の普及促進

基本方針② 県民全ての表現・参加機会の拡大

【多様な担い手による創造的な活動の促進】

- 文化芸術を通して多様性への理解を図る機会の一層の創出
- アクティブシニアや障がい者アーティスト等の表現活動支援（アーティスト育成支援・情報発信、作品の商品化）、参加機会の確保

【誰もが文化芸術に親しめる環境の整備】

- 世界的に高い評価を得ている音楽堂を中心に、県民が優れた音楽文化に触れる機会を提供
- 各地域における企画展、アウトリーチコンサート等の実施
- 博物館・美術館における収蔵資料のデジタル・アーカイブを活用した、誰もがどこでも鑑賞できるデジタル鑑賞ツールの整備
- 博物館・美術館のユニバーサルデザインの一層の推進
- 博物館・美術館展示の多言語解説対応強化、訪日外国人も楽しめる歴史観光コンテンツの充実
- 博物館・美術館における散逸する地域の宝を受入・保管(収蔵・公開スペースの拡充)、展示・教育普及への活用推進
- 「鑑賞する力」を育む対話型鑑賞の普及促進〔再掲〕

目指す姿 2

みんなで地域の文化を守り、育て、未来に引き継ぐ福井



主な取組み

基本方針③ 文化芸術を振興する次世代の育成

【次世代の育成】

- 生涯学習・社会教育の拠点として多世代の県民が地域の文化を学ぶ機会を提供する文化施設(学芸員による展示解説や講座等の機会)
- ふるさと教育推進による地域の文化に対する理解促進と誇りの醸成
- 学校教育過程における質の高い展覧会、公演の鑑賞機会確保(無料鑑賞会等)
- 部活動の地域移行支援による持続可能な文化芸術活動機会の確保（県内アーティストバンクの充実、活動したい子ども等とのマッチング支援、文化団体による次世代育成の取組み促進 等）
- 子どもの文化芸術体験プログラムの充実・教育機関との連携強化

【若手アーティストの育成】

- 越のルビーアーティストなど、福井ゆかりのアーティストの発表機会を創出
- 県内アーティスト情報の発信強化〔再掲〕
- 分野を超えたアーティスト間の連携による新たな価値の創出

基本方針④ 地域の文化の振興

【有形・無形の文化財や文化的・歴史的景観の保存・継承】

- 文化的・歴史的景観の維持向上を図る景観づくり活動への支援
- 国や市町と連携した文化財の計画的な指定、登録の推進
- 文化財の保存・継承活動への支援
- 日本遺産など、地域の文化をストーリーで発信
- 地域の文化のアーカイブ化推進・価値や魅力の国内外発信強化
- コンベンションなどでの伝統芸能の公開によるおもてなし促進

【地域の文化を支える人材の育成】

- 伝統工芸の後継者育成
- 宮大工などの文化財の修理技術者の育成
- 民俗芸能等の継承を地域外からも応援できる仕組みづくり（寄附、ボランティア参加促進、企業との連携等）

基本方針⑤ 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造

【アートを活かしたまちなかの活性化】

- 「まちなかステージ」など誰もが発表できる場の拡充〔再掲〕
- 若者が楽しむ文化(サブカルチャーやストリートカルチャー)を活用した賑わい創出への支援
- 地域の活性化や課題解決につながるアートプロジェクト実践団体支援
- まちなかや駅などへのアート活用による新しい価値の創出（県民に親しまれ、観光客も行ってみたいくなる場づくり）

【文化施設の機能拡充】

- 博物館・美術館、地域や学校での地域の文化の価値を学ぶ機会の提供
- 博物館・美術館における収蔵資料のデジタル・アーカイブ化推進・公開
- 博物館・美術館と地域等との連携による調査・研究、成果の共有・公開（博物館での民俗芸能等の発信、他施設との連携企画の実施等）

目指す姿 3

文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井



主な取組み

基本方針⑥ 文化芸術による交流機会の拡大

【地域プロジェクト型のアート活動への支援】

- 県民の自律的・継続的な発展に資する活動を支援するアーティストサポーターによる伴走型支援
- 地域のアートマネジメント(活動の仲介、調整役)人材養成(研修実施)
- 地域の活性化や課題解決につながるアートプロジェクト実践団体への支援〔再掲〕
- 専門家からの助言が受けられる相談窓口の設置（「アートサポートセンター(仮称)」の機能構築）〔再掲〕
- 地域プロジェクトに関わり多様な主体とつなげ、新たな価値を創出する人材の確保・育成（アートマネジメント、技術者・技術スタッフ、プロデューサー等）

【文化資源を最大限活用した文化観光の推進】

- 博物館を核とした一乗谷朝倉氏遺跡のフィールドミュージアム化
- 永平寺拠点化計画に基づく、文化観光の推進
- 北陸3県など近隣文化施設との連携テーマ展示、共同イベントの実施による広域周遊の推進
- アーティスト・イン・レジデンスの手法による地域おこし・拠点づくり
- アーティスト・イン・レジデンス拠点のネットワーク構築・交流拡大

【国際的な文化交流の充実】

- Fukuiレポーターズ等による福井の文化の魅力発信
- 日本遺産など、地域の文化をストーリーで発信〔再掲〕
- 国際機関や大学等との連携による国際的な文化交流の推進
- 友好都市提携などの関係を活かした海外との文化交流の強化
- 歴史的・文化的景観など福井ならではの文化の情報や素材の国内外への発信

基本方針⑦ 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化

【文化芸術活動応援(スポンサー)企業による活動支援の拡大】

- メセナ活動の意義や効果等の周知
- 他社のモデルとなる企業メセナ活動の顕彰(アワード創設)
- 県民の文化芸術を活用した教育、福祉、観光・地域づくり活動を支援する基金創設

【文化芸術と地域経済の有機的な連携創出】

- 伝統工芸産地等における産業観光イベント(RENEW、千年未来工芸祭、めがねフェス 等)の開催支援
- 県内アーティストバンクの充実・活動したい県民等とのマッチング支援による県民一人一人のコト始めを応援〔再掲〕
- 伝統工芸産地と文化施設との連携による観光コンテンツの開発
- 県内企業とデザイナーやアーティストとのビジネスマッチングによるクリエイティブ産業の振興